

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	健康係
■評価事業名称	子どもの歯科保健事業			
■事業開始年度	平成15年度			
■評価事業コード	040200 - 021	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	02 病気の予防、早期発見、早期治療の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	地域保健法/地域保健対策の推進に関する基本的な指針			
■関連計画の名称	北上市健康づくりプラン			
■事業の目的と概要	幼児期のむし歯の減少を図り、一生涯健康な口腔で過ごせる基礎作りをする。家族の口腔の健康を増進し「8020運動」を推進する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	子どもの歯科保健事業	幼児・小中学生	・ぴかぴか教室 年6回実施・歯っぴー教室 年12回実施・未就学児とその保護者への歯科指導 随時実施・小、中学生等への歯科指導 随時実施	ぴかぴか教室:5回48人 歯っぴー教室:11回48人 未就学児とその保護者への歯科指導:20回子469人親128人 小、中学校歯科指導:24回 1,669人
02	ぴかぴか教室	要フォローの2.3歳児	廃止(他事業に統合済み)	廃止(他事業に統合済み)
03	歯科保健指導事業	市民	廃止(他事業に統合済み)	廃止(他事業に統合済み)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	144	1,736	1,770	217	
人件費	1,126	4,307	2,029	2,090	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,270	6,043	3,799	2,307	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	ぴかぴか教室の参加者数	69人	33人	48人	48人	実数
02	参加者のむし歯がない子の割合	82.5%	85.7%	70.6%	81.3%	参加者のうち3歳6か月児健診時むし歯のない子の人数 ÷ 参加者数
03	3歳6か月児健診におけるむし歯のない子の割合	79.3%	78.3%	78.5%	80.7%	3歳6か月児健診時むし歯のない子の人数 ÷ 3歳6か月児健診受診児総数 × 100
04	参加者一人当たりコスト	18.4千円	183.1千円	79.1千円	48.1千円	フルコスト ÷ 参加者総数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

むし歯のない子の割合が増加傾向にある。

問題点・課題等

むし歯のリスクが高い児とその親への周知が課題。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

幼児期からのむし歯予防への取組み、健康な口腔状態を保つことが将来の健康な歯と体を維持することに繋がることから、事業継続が必要。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了